



生駒トンネル 大正初期 工事中の東坑口
写真提供：近鉄グループホールディングス株式会社



昭和 40 年 11 月 新旧生駒トンネル 写真撮影：吉田守氏



現在の近鉄奈良線とけいはんな線の生駒トンネル入り口

【28】生駒トンネル

○明治 44 年の英断。 大阪から奈良は遠かった。生駒山越えとして北へ迂回や、ケーブルでの山越えなどの案があったが、大阪電気軌道（近畿日本鉄道の前身）が工事は困難ではあるがトンネルを英断し飛躍的に便利になった。

○昭和 39 年(1964) に生駒トンネルは**新生駒トンネル**（全長 3,494m）の開通により鉄道トンネルとしての使用を一旦終えた。

○その後、昭和 61 年(1986)奈良線の旧トンネルを一部再利用する形で東大阪線として開通し、平成 17 年、けいはんな線と改称し平成 18 年学研奈良登美ヶ丘まで開通。